



平和へのメッセージ



今年広島は被爆80年。私たちは小さいころから平和について多くの知識と学びを得ています。当時の悲惨さを学ぶと同時に今を生きる私たちは戦争のない世界を作っていきたいという思いを強く持っています。

「私は、平和について中高校生の時からずっと平和活動をしてきて、その中で空を見るのが怖い、怖かったという人も。そういう人たちが今世界にいるということを実感すると、こうやって何の不自由もなく勉強したり空を見上げられたり友達と話したりできていることそれ自体が平和なことだと思う。」「私には海外の友達があります。もしその友達の国で何か起こったら、他人事とは思えません。大丈夫だろうかとても心配します。その思いをいろんな国の人の心に作っていけば、みんなでいい世界にしていこうという思いを持つ人が多くなっていると思います。」「もちろん戦争がないこと、目の前の人安心して笑顔でいられる状態というのが一番の僕にとっての幸せだと思う。」「お帰りと言ってくれて、ご飯温めてくれて、たわいもない話をする、そういう日常が幸せなんだ、平和なんだ。」「自分の夢を喋れる環境があるということ、やりたいことを言える環境があるということ。」「人のことを考えてくれてこういう場を作ってくれるような人がいるということが平和だと思います。」「家族とか友達とか拠り所になる存在が近くにあるというのが自分の中で平和だと思っています。」「争いをゼロにするというのは限りなく難しいのではないかと、ただゼロに向けて努力をすることは全員一人一人ができることだと思う。」「平和は挑戦できること。」と10代達が自分の思いを話してくれました。平和な環境にいらながらも、そのありがたさに気づけているというのはすごく素晴らしいことだと思います。また、そういうふうにも子どもたちを育ててこられた回りの大人や家族の方々も素晴らしい人たちではないかと思いました。

いろんなところに友達や知り合いを作ること世界という大きな枠組みではなくても日本の中でも同じだと思います。戦争がなくても安心して心安らかに生活できる空間や時間のない子どもたちが今この日本にいるのも現実です。自分の学校や地域以外の友達や広島県外の友達などを作ること平和への一歩だと思います。

今日のイベントは、今の自分の思いを心から言える良い機会となりました。思っていることを声に出していうことは勇気のいることです。でも、声に出さないと何も始まりません。声に出し、いろいろな人の声を聴き、分かち合う、そこから一歩が始まります。子どもだからといって大人のいう通りにしないといけないということはありません。自分や回りのこと・世界のことを、よく聴きよく知りよく考えて声を発することが大切です。

子どもたちを応援している大人たちはたくさんいます。一緒に考える大人たちもたくさんいます。未来を創るのは子どもたちです。自分が好きでいられる社会・幸せと感ぜられる社会・子どもと大人がそれぞれ尊重できる社会を大人と一緒に創っていききたいと思います。

これをもって、子どもたちからの平和へのメッセージとします。

2025年11月23日

広島国際会議場 ヒマワリホールにて